



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場取引所 名

上場会社名 中央紙器工業株式会社

コード番号 3952 URL <http://www.mcpack.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 神谷 兼弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役事務統括部長

(氏名) 南谷 登志宏

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日

TEL 052-400-2800

平成26年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,958	△2.1	515	△11.9	546	△11.4	343	△9.2
26年3月期第2四半期	6,087	△3.5	584	△7.7	616	△5.1	378	△4.2

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 361百万円 (△31.9%) 26年3月期第2四半期 530百万円 (34.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	69.19	—
26年3月期第2四半期	76.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	12,003	9,954	82.9
26年3月期	11,754	9,697	82.5

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 9,954百万円 26年3月期 9,697百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	19.00	—	21.00	40.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	0.8	1,200	5.4	1,250	5.2	770	6.5	155.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期2Q	5,225,008 株	26年3月期	5,225,008 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	257,511 株	26年3月期	257,097 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期2Q	4,967,759 株	26年3月期2Q	4,968,543 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料の2ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(6) 重要な後発事象	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安・株高基調による企業収益の改善等を受け、景気は回復基調にある反面、消費増税前の駆け込み需要の反動、原材料及び燃料価格の高騰、夏場の天候不順により依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

また、海外においては、米国の量的緩和縮小による新興国への投資は減少しつつも、米国経済の回復基調もあり全体としては緩やかな回復傾向となりました。

国内段ボール需要においては、増税直後の需要減少から増加傾向にあったものの、夏場の天候不順の影響により、一転厳しい状況となりました。一方、当社進出先であります中国段ボール需要においては、中国経済に依然として下振れ懸念があるものの、旺盛な需要に支えられ生産量は前年比増で推移いたしました。

このような状況下において、当社グループは、新規包装提案による販売活動、既存のお客様への更なる深耕拡大を積極的に行う一方、持続的な成長に向け、商品開発に注力し2014年日本パッケージングコンテストではジャパンスタ一賞を受賞、また、ロスの低減等による原価改善を実施してまいりました。しかしながら、販売価格競争や消費増税駆け込み需要の反動減による主要取引先である自動車・電気機械関連の売上減、原材料価格の上昇、また中国においては、取引先の生産拠点が他国へ移管された影響もあり、売上高59億58百万円（前年同四半期比2.1%減）、営業利益5億15百万円（前年同四半期比11.9%減）、経常利益5億46百万円（前年同四半期比11.4%減）、四半期純利益3億43百万円（前年同四半期比9.2%減）の減収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本は、売上高49億51百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益4億63百万円（前年同四半期比11.2%減）となりました。

中国は、売上高10億6百万円（前年同四半期比6.0%減）、セグメント利益8百万円（前年同四半期比28.9%減）となりました。

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度に比べ2億48百万円増加し120億3百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度に比べ3億5百万円増加し86億90百万円となりました。これは、主に現金及び預金が前連結会計年度に比べ4億34百万円増加し60億27百万円となったことによるものです。固定資産は、前連結会計年度に比べ56百万円減少し33億13百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度に比べ7百万円減少し20億48百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度に比べ35百万円減少し15億1百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度に比べ27百万円増加し5億47百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度に比べ2億56百万円増加し99億54百万円となりました。これは、主に利益剰余金が増加し2億39百万円増加し77億2百万円となったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました決算発表時の業績予想は見直しを行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,592,703	6,027,417
受取手形及び売掛金	2,536,648	2,397,296
商品及び製品	97,039	101,231
仕掛品	14,568	14,079
原材料及び貯蔵品	41,619	44,090
その他	101,944	106,219
貸倒引当金	△219	△207
流動資産合計	8,384,306	8,690,127
固定資産		
有形固定資産	2,239,760	2,136,961
無形固定資産	24,292	22,035
投資その他の資産	1,106,152	1,154,261
固定資産合計	3,370,205	3,313,258
資産合計	11,754,511	12,003,385
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	938,156	928,332
未払法人税等	229,943	213,827
賞与引当金	123,430	109,652
役員賞与引当金	27,550	13,930
その他	217,492	235,517
流動負債合計	1,536,573	1,501,259
固定負債		
役員退職慰労引当金	80,080	86,580
退職給付に係る負債	391,287	412,173
その他	48,711	48,976
固定負債合計	520,078	547,729
負債合計	2,056,651	2,048,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,895	1,077,895
資本剰余金	980,562	980,562
利益剰余金	7,462,722	7,702,108
自己株式	△70,999	△71,510
株主資本合計	9,450,180	9,689,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	261,550	312,171
為替換算調整勘定	△13,871	△46,830
その他の包括利益累計額合計	247,679	265,340
純資産合計	9,697,859	9,954,396
負債純資産合計	11,754,511	12,003,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	6,087,089	5,958,617
売上原価	4,558,083	4,473,146
売上総利益	1,529,006	1,485,471
販売費及び一般管理費	944,042	969,982
営業利益	584,963	515,489
営業外収益		
受取利息	3,393	279
受取配当金	10,326	11,789
持分法による投資利益	—	1,441
仕入割引	4,099	3,787
その他	16,086	14,012
営業外収益合計	33,905	31,310
営業外費用		
持分法による投資損失	1,869	—
売上割引	216	209
投資有価証券評価損	504	449
その他	171	67
営業外費用合計	2,762	726
経常利益	616,107	546,073
税金等調整前四半期純利益	616,107	546,073
法人税、住民税及び事業税	235,853	208,803
法人税等調整額	1,919	△6,442
法人税等合計	237,772	202,361
少数株主損益調整前四半期純利益	378,334	343,712
四半期純利益	378,334	343,712

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	378,334	343,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,432	50,620
為替換算調整勘定	65,499	△24,279
持分法適用会社に対する持分相当額	27,187	△8,679
その他の包括利益合計	152,119	17,661
四半期包括利益	530,454	361,373
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	530,454	361,373

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,951,923	1,006,694	5,958,617	—	5,958,617
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,951,923	1,006,694	5,958,617	—	5,958,617
セグメント利益	463,889	8,321	472,211	43,277	515,489

(注) 1. セグメント利益の調整額43,277千円には、セグメント間取引消去52,069千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,016,681	1,070,408	6,087,089	—	6,087,089
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,016,681	1,070,408	6,087,089	—	6,087,089
セグメント利益	522,131	11,702	533,833	51,129	584,963

(注) 1. セグメント利益の調整額51,129千円には、セグメント間取引消去57,153千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

平成27年3月期 第2四半期 決算概要

1. 当期（平成27年3月期 第2四半期累計）の連結業績

(1) 連結経営成績・・・今決算減収減益

(単位:百万円)

	当第2四半期 (26.4.1～26.9.30) (第64期)		前年同四半期 (25.4.1～25.9.30) (第63期)		増減額	
		百分比		百分比		増減率
売上高	5,958	100.0%	6,087	100.0%	△129	△2.1%
営業利益	515	8.7%	584	9.6%	△69	△11.9%
経常利益	546	9.2%	616	10.1%	△70	△11.4%
四半期純利益	343	5.8%	378	6.2%	△35	△9.2%
1株当たり 四半期純利益	69.19 円		76.15 円		△6.96 円	

連結決算対象会社

- ・子会社 4社 (中央興産株式会社、中央コンテ株式会社、
香港中央紙器工業有限公司、CHUOH PACK(MALAYSIA)SDN. BHD.)
- ・持分法適用会社 4社 (MC PACK(MALAYSIA)SDN. BHD.、宏冠實業(香港)有限公司、
澤邦発展有限公司、東莞宏冠包装印刷科技有限公司)
- ・売上高の連単倍率 1.21 倍

《減収要因》 販売価格競争や消費増税駆け込み需要の反動により、主要取引先である自動車・電気機械関連の売上減、中国での取引先の生産拠点が他国へ移管された影響もあり減収となった。

(新規顧客獲得 15社 45百万円)

・業種別販売状況

(単位:百万円)

	当第2四半期 (26.4.1～26.9.30)		前年同四半期 (25.4.1～25.9.30)		増減額	
		構成比		構成比		増減率
自動車関係	3,813	64.0%	3,861	63.4%	△48	△1.2%
電気機械関係	1,656	27.8%	1,761	28.9%	△105	△6.0%
食品関係	126	2.1%	116	1.9%	10	8.8%
その他	363	6.1%	349	5.8%	14	4.1%
合計	5,958	100.0%	6,087	100.0%	△129	△2.1%

・品目別販売状況

(単位:百万円)

	当第2四半期 (26.4.1～26.9.30)		前年同四半期 (25.4.1～25.9.30)		増減額	
		構成比		構成比		増減率
段ボール製品	4,635	77.8%	4,744	77.9%	△109	△2.3%
(段ボールケースほか)	(4,426)	(74.3%)	(4,533)	(74.5%)	(△107)	(△2.4%)
(三層段ボールケースほか)	(209)	(3.5%)	(210)	(3.4%)	(△1)	(△0.7%)
その他(化成品ほか)	1,323	22.2%	1,343	22.1%	△20	△1.4%
合計	5,958	100.0%	6,087	100.0%	△129	△2.1%

《増減益要因：対前期営業利益》

増 益 要 因	・ ・ ・ ・	43 百万円
①収益改善(ロス削減・運賃削減 等)		
②固定費の減		
③為替変動		
減 益 要 因	・ ・ ・ ・	△112 百万円
①売上減による影響		
②製品価格変動の影響		
③購入品価格変動の影響		
営 業 利 益		△69 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
平成27年3月期 第2四半期	12,003	9,954	82.9	2,003.91
平成26年3月期	11,754	9,697	82.5	1,952.10

2. 配当の状況

	1株当たり配当金			配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第2四半期末	期末	年間			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
平成27年3月期 (予想)	20.00	20.00	40.00		25.8	
平成26年3月期	19.00	21.00	40.00	198	27.5	2.1

3. 通期（平成27年3月期）連結業績予想

通期業績予想については、平成26年5月9日に公表したとおりです。

増収増益 予想

(単位:百万円)

	通期予想（平成27年3月期）		前期（平成26年3月期）		増減額	
		百分比		百分比		増減率
売 上 高	12,800	100.0%	12,692	100.0%	108	0.8%
営 業 利 益	1,200	9.4%	1,138	9.0%	62	5.4%
経 常 利 益	1,250	9.8%	1,187	9.4%	63	5.2%
当 期 純 利 益	770	6.0%	723	5.7%	47	6.5%
1株当たり 当 期 純 利 益	155.01 円		145.57 円		9.44 円	

重点取組事項

- 新規顧客獲得および増販の取組み強化（国内・中国）
 - 販売、生産、開発部門の連携強化によるお客様へのスピーディーな対応
- コスト競争力の強化（造り・デリバリーの工夫）
 - ①生産ロス・在庫削減及び変動に合わせた効率的物流の実現
 - ②設備保全の強化・徹底による品質向上と停止時間の短縮
 - ③フレキシブルな生産体制の構築（工場間・多能工化）
- 内製化の充実
 - ①社内プロジェクトチームの立ち上げ
 - ②既存事業をベースに商品化検討